

会計名			文化振興事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	文化観光課			
款	項	目					担当係	文化振興係			
10	6	13									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	総合文化センターにおいて、各種文化振興事業を開催し、優れた文化芸術作品の鑑賞並びに市民参加の機会を提供する。			主たる内容	国民文化祭あいち2016の分野別フェスティバル（刈谷市開催）において、総合文化センター管弦楽団のコンサートを開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成28年度～平成28年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
		_____		_____		・総合文化センター管弦楽団公演 開催日：11月20日		_____			
成果		・刈谷市総合文化センター管弦楽団が、国際音楽コンクール受賞者及び日本舞踊西川流と協同で公演を行ったことで、市民が文化芸術及び伝統芸能に親しむ機会を提供した。									
課題		・事前の観覧応募者数が伸び悩んだため、募集方法を工夫する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標		観客数（人）			—	—	428	—	—		
指標											
他市との比較検証		近隣で文化一般に関する分野別フェスティバルが開催された市町村：高浜市、西尾市、大府市、豊明市、みよし市、幸田町等									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	4,985	0	合計	4,985,000円			
	財源	特定財源	0	0	1,000	0	委託料	4,985,000円			
		一般財源	0	0	3,985	0					
	職員人件費②		0	0	2,423	0					
	総事業費（①+②）		0	0	7,408	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費			0	第31回国民文化祭・愛知2016市町村事業費補助金							
30年度以降の事業費見込			0								

会計名			文化振興事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民の文化芸術意識の向上のために、文化芸術に触れられる機会を提供することは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	第31回国民文化祭愛知県実行委員会から助成金の交付を受け、会場使用料のみの負担で事業を実施したため、コストを最小限に抑えることができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民の文化芸術意識の向上のため、本事業を市が開催することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	文化振興基本計画に定める「音楽のあるまち刈谷」のまちづくり実現に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・単年度事業として実施したが、今後も市民の文化芸術意識の向上の一助となる事業の実施を検討していく。					

会計名 一般会計			文化協会育成事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	1	担当係	文化振興係						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	芸術文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。		主たる内容	幅広い文化創造活動に取り組む刈谷文化協会の育成や、刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会への団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 西三文協美術展への事業補助 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会への団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 県文連西三河部芸能大会への事業補助 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会への団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会への団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 		
成果		多くの市民が参加する市民文化祭を開催するとともに、国民文化祭あいちに出演することで、市民が文化に触れる機会を広く提供した。								
課題		会員の高齢化及び会員数の減少が顕著であり、若年層の会員を獲得していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	団体会員数（人）			2,170	2,107	1,930	1,950	2,000		
指標										
他市との比較検証	安城市	文化協会会員数	H27：1,703人、H28：1,635人	市人口		約18万人				
	知立市	文化協会会員数	H27：1,541人、H28：1,503人	市人口		約7万人				
	刈谷市	文化協会会員数	H27：2,107人、H28：1,930人	市人口		約15万人				
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		6,291	6,982	2,150	2,150	合計	2,150,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	200,000円		
		一般財源	6,291	6,982	2,150	2,150	負担金、補助及び交付金	1,950,000円		
	職員人件費②		634	705	860	759				
	総事業費（①+②）		6,925	7,687	3,010	2,909				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費			0							
30年度以降の事業費見込			0							

会計名			文化協会育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	普通	市民が5部門34部会に所属し、多様な文化芸術の創造活動に寄与している。部門ごとに市民文化祭を開催しており、他団体との交流も行われ、レベルアップに寄与している。わたしの刈谷展の開催により、郷土に対する愛着を高めることができる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	文化振興指導員が事務局を取りまとめており、事業運営や経理など、適正に行われている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	文化活動団体の取りまとめ窓口となる文化協会を支援することは妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	市民文化祭を開催するほか、国民文化祭に出演することで、市民が積極的に文化創造活動に関わる機会を設け、刈谷の文化振興に寄与した。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・今後も活発な活動を継続するため、新規会員の獲得に向けた方策を支援する必要がある。					

会計名			歴史博物館建設事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗等に関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。			主たる内容		本市の歴史資料や文化財を適切に保存・管理し、展示・活用することのできるよう歴史博物館を整備する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成22年度～平成30年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルによる建物基本設計業者の選定 建物基本設計の作成 展示基本設計の作成 刈谷市歴史博物館建設委員会の開催 2回 文化庁ヒアリング 3回 		<ul style="list-style-type: none"> 建物基本設計の作成（繰越） 建物、展示実施設計の作成 予定地ボーリング調査の実施 刈谷市歴史博物館建設委員会の開催 1回 文化庁ヒアリング 3回 		<ul style="list-style-type: none"> 建物、展示実施設計の作成（繰越） 刈谷市歴史博物館建設委員会の開催 1回 文化庁ヒアリング 3回 		—	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 建物基本設計を作成し、建物工事に着手した。 歴史博物館建設委員会を1回開催した他、有識者・関係団体へのヒアリングを適宜実施し、設計の参考にした。 公開承認施設を目指し、文化庁へのヒアリングを3回実施した。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 文化庁へのヒアリング結果を反映させるため、建物工事の着手が28年度末となり、当初計画より遅れた。 							
D 実績	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	有識者や関係団体からなる委員会の開催数（回）			2	1	1	—	—
	活動指標								
E 実施	他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> 県内の公開承認施設 7館 県内の登録博物館数 33館 							
	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
C 事業コスト	事業費 ①		32,027	59,507	97,457	0	合計	97,457,040 円	
	財源	特定財源	0	0	97,457	0	委託料	97,457,040 円	
		一般財源	32,027	59,507	0	0			
	職員人件費 ②		5,068	5,641	5,314	0			
	総事業費（①+②）		37,095	65,148	102,771	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金					
30年度以降の事業費見込		0		繰越金					

会計名			歴史博物館建設事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	現在の郷土資料館は文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。公文書館・展示・埋蔵文化財センター・祭り会館の各機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	建物実施設計・展示実施設計は、指名競争入札で設計業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を設計することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、公開承認施設を目指すことで、国宝や重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利便性・機能性・コストに配慮した建物を目指す。（平成30年度開館予定） より魅力ある博物館とするため、開館後の事業を具体化する。 					

会計名 一般会計			歴史博物館建設事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	14					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史、考古、民俗等に関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。			主たる内容	本市の歴史資料や文化財を適切に保存・管理し、展示・活用することのできるよう歴史博物館を整備する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成22年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		_____		・建設工事 ・工事監理		・建設工事 ・工事監理 ・展示・収蔵庫設置		
成果		・建物実施設計を作成し、建物工事に着手した。 ・歴史博物館建設委員会を1回開催したほか、有識者・関係団体へのヒアリングを適宜実施した。								
課題		・文化庁へのヒアリング結果を反映させるため、建物工事の着手が28年度末となり、当初計画より遅れた。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
成果指標		建設工事進捗率（％）				—	1.9	70.0	100.0	
活動指標										
他市との比較検証		・県内の公開承認施設 7館 ・県内の登録博物館数 33館								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	55,682	2,162,026	合計		55,682,000円	
	財源	特定財源	0	0	45,041	2,124,000	工事請負費		55,682,000円	
		一般財源	0	0	10,641	38,026				
	職員人件費②		0	0	1,329	7,967				
	総事業費（①+②）		0	0	57,011	2,169,993				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			3,446,100	28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費			55,682	社会資本整備総合交付金 亀城公園等整備基金繰入金						
30年度以降の事業費見込			1,228,392							

会計名 一般会計			歴史博物館建設事業	担当部	市民活動部
款	項	目		担当課	文化観光課
10	6	14		担当係	文化財係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	現在の郷土資料館は文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。公文書館・展示・埋蔵文化財センター・祭り会館の各機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	建物実施設計・展示実施設計は、競争入札で設計業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を設計することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、公開承認施設を目指すことで、国宝や重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利便性・機能性・コストに配慮した建物を目指す。（平成30年度開館予定） より魅力ある博物館とするため、開館後の事業を具体化する。 					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。			主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を行う。 ○カキツバタ開花期における、警備や駐車場案内等の業務を行う。			
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	DO 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 26本 被害木ラップ巻き 16本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 15本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 16本 ・カキツバタ遺伝子調査		・「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」の改定 ・保存対策調査委員会開催 2回 ・「湿地サミット」の開催 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 17本	
成果		・ナラ枯れ被害木の伐採により、東側丘陵地の森に光が入るようになった。 ・除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くの市民が参加した。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたと来場者より評価を得た。							
課題		・池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しており、その速さが伐採処理を上回っているため、地下水の確保、水源の管理が課題となっている。 ・地球温暖化などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	ボランティア参加数（人）			199	209	192	200	200
	成果指標	見学者数（人）			14,478	7,628	8,638	8,700	9,000
他市との比較検証	・知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者（平成28年 15万人程度）、保存会ボランティア参加数（平成28年 33人） ・豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成28年 延べ545人 冬季25日間程度）								
C 事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①	6,825	6,527	5,934	8,177	合計	5,934,205 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	75,000 円	
		一般財源	6,825	6,527	5,934	8,177	需用費	117,789 円	
	職員人件費 ②	1,971	2,507	1,825	2,738	委託料	5,741,416 円		
	総事業費（①+②）	8,796	9,034	7,759	10,915				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも手段は最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力向上に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上が図れるよう、豊富な自然環境が維持されていることの啓発を今後も推進する。 平成19年度に策定した「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」を改定することで、関係機関の連携を強化し、群落の保護保全に努める。 池の水源確保や外来種の増加に対しては、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。 					

会計名		依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	6					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。	主たる内容	○館内ガイド業務の実施 ○機器説明等					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 32,255人 ・ボランティアガイド 114件 3,000人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 37,924人 ・ボランティアガイド 132件 3,112人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 39,159人 ・ボランティアガイド 123件 2,594人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 約40,000人 ・ボランティアガイド 130件 3,150人	
成果		・記念館には無線通信に詳しい方もそうでない方も来館されるが、ガイドがあることでそのどちらにも対応することができ好評価を得ており、テレビ、広報紙等の取材にも対応した。 ・県外からは、ツアー客を含め多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。							
課題		・他市町村からのガイド依頼は一定数あるが、市内の方からのガイドの依頼数が減少傾向にある。 ・フローラルガーデンよさみでのイベントとガイドボランティアとの連携を一層強化する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）		43	45	43	45	47	
成果指標		ガイド申込者数（人）		3,000	3,112	2,594	3,150	3,200	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		170	243	145	100	合計	144,882 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	44,882 円	
		一般財源	170	243	145	100	委託料	100,000 円	
	職員人件費 ②		352	235	391	379			
	総事業費（①+②）		522	478	536	479			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深める。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	ガイドボランティアの会に委託することで、低いコストでガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、業者委託や直営よりも効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・現在は、依佐美送信所に詳しい方がボランティアとして在籍しているため、当時の記憶がガイドに活かされているが、解体から歳月が経つにつれ記憶が風化していくことから、資料化して伝えていくなどの取組が早急に必要である。 ・平成29年度には開館から10年が経過するため、写真パネルの色あせなどがみられ、ハード面の再整備も部分的に必要となってきている。					

会計名			文化財保存整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の修復及び複製を製作することで、文化財の保存を図る。また、市民の文化財に対する興味関心を高めるため、歴史博物館での展示活用を図る。				主たる内容	○市指定文化財を始めとした、文化財の修復 ○刈谷市に関係のある文化財の複製製作			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
			対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成26年度～		
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 「津田宣久判物」の修復 「水野忠重画像」の複製製作 		<ul style="list-style-type: none"> 「華陽院画像」の複製製作 「伝通院像」（松本市玄向寺所蔵）の複製製作 「豊臣秀吉書状」の修復 		<ul style="list-style-type: none"> 「伝通院調度品」の複製製作 「水野忠政画像」（名古屋博物館所蔵）の複製製作 		<ul style="list-style-type: none"> 「肴町の山車」の台輪の修復 「亀城小学校額絵」の修復 出土土器復元及び彩色 市指定史跡「椎の木屋敷跡」への防犯灯設置工事 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 「伝通院調度品」及び「水野忠政画像」の複製を製作し、常時展示公開が可能な状態にした。 								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		修復文化財数（点）				1	1	0	2	0
活動指標		複製製作文化財数（点）				1	2	2	0	0
他市との比較検証		豊田市では26年度は1点、27年度は2点、28年度は2点の修復を行い、その他28年度には1点複製を製作した。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		1,350	2,256	4,052	2,350	合計	4,052,160円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,052,160円		
		一般財源	1,350	2,256	4,052	2,350				
	職員人件費②		106	470	782	759				
	総事業費（①+②）		1,456	2,726	4,834	3,109				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民の財産である文化財を保護保存することは、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化財の修復には取扱いに習熟している専門業者への委託が不可欠であるが、修復方法については市の学芸員とともに調査・検討することで、より効果的な方法で実施した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	文化財は未来の市民へ繋いでいくべきものであり、市の事業として実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	修復や複製を製作することで、歴史博物館等の施設での公開が可能となり、文化財の活用を図ることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ 損傷が激しい文化財については、今後とも適宜修復を行っていく。					

会計名			刈谷偉人伝等制作事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	刈谷市にゆかりのある人物や祭りを広く市内外に紹介し、顕彰する。建設中である歴史博物館での活用や、小中学生の歴史教材とする等、様々な分野で刈谷市の歴史文化や魅力をPRすることができる啓発促進手段の一つとする。			主たる内容	○刈谷偉人小伝の作成 ○刈谷偉人伝紙芝居の作成 ○刈谷の祭り映像の作成				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～平成29年度				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 第6作目『徳川家康の生母・於大』作成 『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の頒布開始 『フェライトの父加藤与五郎』と『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の増版 『水野勝成物語』の紙芝居作成 		<ul style="list-style-type: none"> 『徳川家康の生母・於大』の頒布開始及び増版 偉人小伝『松平定政』『大中肇』の作成 『豊田佐吉と喜一郎』の紙芝居の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 偉人小伝『刈谷藩三家老事件』、『大野一族三代記』の作成 『徳川家康の生母・於大』の紙芝居の作成 刈谷の祭り映像の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 偉人小伝『石田退三』、『高野鎮雄』の作成 『戦国時代の水野氏』『刈谷ものがたり』映像の作成 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居を幼稚園・保育園、小学校等に配付した結果、子どもたちに刈谷の偉人について広く伝えることができた。 刈谷偉人小伝を2作品と祭り映像を作成することにより、平成30年度の歴史博物館の開館に向け準備を整えることができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> これまで作成した6作品の販売数が伸び悩んでいる。 								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標		頒布部数（部）		512	159	61	65	65		
活動指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等の場での活用・広報した回数（回）		28	11	12	15	15		
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法、レベル及び作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』 								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		7,760	4,333	10,648	13,240	合計	10,648,112円		
	財源	特定財源	406	4,159	61	30	旅費	1,920円		
		一般財源	7,354	174	10,587	13,210	需用費	317,952円		
	職員人件費②		2,041	2,037	1,172	1,138	委託料	10,328,240円		
	総事業費（①+②）		9,801	6,370	11,820	14,378				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷偉人伝等制作事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	<p>「歴史の小径」などの配布数を見ても、郷土の歴史に対する関心は高く、郷土の偉人を顕彰する事業はニーズがある。</p> <p>小中学校に配付し教育的利用を促すことで、郷土学習にも役立っている。</p>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	<p>偉人小伝は2作品を同時進行で作成することで、取材・撮影・音入れ等にかかるコストや時間を節減することができた。</p>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	<p>小中学校での積極的な活用を促すことにより、教育的効果が期待できる。</p> <p>図書館等の施設でのDVDの公開・貸出のほか、市の行事等に活用することで郷土の歴史に対する認知度の向上を図ることができる。</p>
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	<p>魅力発信事業関連の各種イベント等で上映し、幅広い世代の市民の目に触れる機会を創出した。</p> <p>郷土の偉人を通して歴史文化を啓発することで、郷土愛の育成に寄与することができた。</p>
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>・刈谷偉人伝の販売により郷土の歴史・文化の啓発促進を図るほか、刈谷の祭映像を作成し、平成30年度開館予定の歴史博物館のデジタルミュージアムでの活用などを考えていく。</p> <p>・全6作品を作成する刈谷偉人小伝では、平成29年度に『石田退三』『高野鎮雄』の2作品を作成し、刈谷偉人伝同様に歴史博物館での利用を考えていく。</p>					

会計名			観光PR施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏域市町の観光情報発信拠点として、刈谷ハイウェイオアシス内にあるオアシス館刈谷を充実させる。 また、刈谷駅前観光案内所においては、観光客やビジネス客への総合的な案内と観光情報の紹介、自転車の無料レンタル等を行い、本市をPRするとともに、観光客の増加を図る。	主たる内容	○オアシス館刈谷の展示物品の変更や修繕及び管理 ○刈谷駅前観光案内所の管理						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 展示用器具修繕 観光案内所仮設建物借上 		<ul style="list-style-type: none"> 展示用器具修繕 観光案内所仮設建物借上 		<ul style="list-style-type: none"> 展示用器具修繕 観光案内所仮設建物借上 		<ul style="list-style-type: none"> 展示用器具修繕 観光案内所仮設建物借上 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> オアシス館刈谷の管理を適正に実施することにより、刈谷ハイウェイオアシスの多くの来場者に対し、刈谷市を含む衣浦定住自立圏域市町の観光情報を積極的に発信することができた。 刈谷駅北口広場に観光案内所を設置し、市内及び定住自立圏域の観光案内、みやげ品の販売、レンタサイクル及び超小型EVの貸し出しサービス等を提供することができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> オアシス館刈谷は多くの来場者に対し効果的な情報発信を行うためにも、定期的なリニューアルが必要である。 観光案内所はより充実した情報発信やサービスの提供を行うため、仮設建物での運用の見直しを検討する必要がある。 								
D 実績	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	成果指標	オアシス館刈谷来場者数（人）			626,300	779,700	634,500	680,000	700,000	
	成果指標	観光案内所来場者数（人）			12,007	15,258	14,794	16,000	17,000	
E 実施	他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> 他市に類似の施設がないため比較できない。 近隣市では、岡崎市、西尾市、安城市、高浜市が観光案内所を設置している。 								
	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
C 事業コスト	事業費 ①		4,388	771	998	776	合計	998,136 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	329,400 円		
		一般財源	4,388	771	998	776	使用料及び賃借料	668,736 円		
	職員人件費 ②		1,056	1,959	2,735	910				
	総事業費（①+②）		5,444	2,730	3,733	1,686				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			観光PR施設管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	刈谷ハイウェイオアシスは、市内外から多くの観光客が訪れることから、オアシス館刈谷の展示内容の充実は、衣浦定住自立圏域市町の情報発信に寄与し、観光振興のために必要である。また、乗降客数の多い刈谷駅前でおもてなしを行う観光案内所も同様である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	施設の管理運営を刈谷ハイウェイオアシス内で一括して行うことにより、事業運営と展示内容の更新等をそれぞれ効率的に実施できる体制が整っている。 また、観光案内所は、観光協会と役割を分担して取り組むことにより最適な設置・運営体制を実現している。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域の活性化のためには、観光振興が必要であり、市全体の魅力を発信するための環境整備は、行政がその役割を果たすことが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	オアシス館刈谷は県内有数の観光客数を誇る刈谷ハイウェイオアシス内という立地により、広く効果的に情報発信を行うことができ、施策に貢献している。 また、乗降客数の多い刈谷駅前情報発信等に取り組む観光案内所も同様である。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・衣浦定住自立圏域市町と連携し、オアシス館刈谷を積極的に活用するとともに、効果的な情報発信のため、オアシス館刈谷の展示内容の充実及び定期的な更新を行う。 ・本市の玄関口である刈谷駅周辺において、観光客やビジネス客等を温かくもてなし、快適に過ごしてもらえるサービスを提供するとともに、集約される観光情報等を有効活用して、本市の魅力を発信するため、引き続き観光案内所を運営する。					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN概要 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷市観光協会への補助を通し、観光資源の発掘やPR、祭りやイベントを開催し、観光の振興による市の活性化を目指す。		主たる内容	刈谷市観光協会が行う観光事業の経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市観光協会	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・主催、共催事業 桜まつり、万燈祭、わんさか祭り、きぬうら☆うら音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営		・主催、共催事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、きぬうら☆うら音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営		・主催、共催事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営	
成果		平成10年3月に刈谷市観光協会が発足して以来、祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たしている。							
課題		・祭りやイベントの実施機関としての役割だけでなく、今後は観光資源の発掘やPRの面でも推進する必要がある。 ・各種関連団体との連携を強化するとともに、役割の明確化を図る必要がある。							
C コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
	成果指標	主催・共催事業来場者数（人）	382,138	424,004	381,422	380,000	400,000		
	指標								
	他市との比較検証	観光協会が主催するイベントの多さから、補助金額が県内他市町村に比較して多くなっている。							
V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		113,501	124,003	124,368	121,314	合計	124,368,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		
		一般財源	113,501	124,003	124,368	121,314	124,368,000 円		
	職員人件費 ②		2,816	3,917	4,689	5,311			
	総事業費（①+②）		116,317	127,920	129,057	126,625			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
	28年度までの累積事業費		0						
	30年度以降の事業費見込		0						

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	観光事業は、各種関連団体と連携し、祭りやイベントを開催することにより、市の活性化に貢献している。また、観光客及び市民が満足する観光ガイド活動や市の魅力を十分に伝える情報発信の手段を担っているため、本事業は必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	会員の増員など、あらゆる面で観光協会の自主財源確保の施策が必要とされる。総支出額に占める、イベント事業費の割合が高く、内容・効率性の見直しを検討するとともに、観光客や市民の視点から実施計画を改善していく必要がある。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	観光協会は地域の特性にあった事業及び伝統的事業を展開することで、刈谷市の観光振興に貢献しており、事業の円滑な実施にあたり、行政の協力が必要不可欠である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	観光振興や知名度を向上させ、観光客の誘客に必要なイベントの開催・情報発信に寄与することで、市民の郷土愛を高める効果がある。また、観光を推進することで、文化の向上、産業・経済の発展、活気あるまちづくりに寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・市や各種関連団体と観光協会との役割分担を明確にしながら、観光協会の機能の強化に取り組む。					

会計名			観光用倉庫整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	万燈、山車、大名行列資材、観光協会備品等の収納場所を整備し、伝統行事の継承、発展を目指す。	主たる内容	○銀座万燈製作場建設工事 場 所：銀座2丁目98番地 構 造：鉄骨平屋建て一部中2階 建築面積：99.4㎡ ○旧銀座万燈製作場解体工事 場 所：銀座3丁目30番地4 構 造：木造平屋建て 建築面積：82.0㎡ ○祭礼道具等移設作業						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市観光推進基本計画					根拠法令	
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度 ～ 平成28年度					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実施V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		・第二観光用倉庫の設計 ・第二観光用倉庫の建設 ・銀座万燈製作場の設計		・銀座万燈製作場の建設 ・旧銀座万燈製作場の解体 ・祭礼道具等の移設		_____		
		成果	・銀座万燈製作場を建設した。 ・旧銀座万燈製作場を解体した。 ・祭礼道具等を移設した。							
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
活動指標		第二観光用倉庫整備進捗率（％）	—	100.0	—	—	—	—		
活動指標	銀座万燈製作場整備進捗率（％）	—	50.0	100.0	—	—	—			
他市との比較検証	祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。									
C 事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	46,740	25,791	0	合計	25,791,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	227,016 円		
		一般財源	0	46,740	25,791	0	工事請負費	25,563,984 円		
	職員人件費 ②	0	3,134	2,345	0					
	総事業費（①+②）	0	49,874	28,136	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			観光用倉庫整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	県指定無形民俗文化財である万燈祭の「万燈」及び市指定有形民俗文化財である「山車」の保存・継承に取り組むにあたり、双方ともサイズが大きく、修繕等、適切に維持管理を行って良好な状態に保つ必要があるが、現在の倉庫では手狭であるため、新たな倉庫が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化財の保存・継承に必要な範囲で、事業を実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市の所有する財産を文化財の保存・継承に活用し、行政が適切に支援を実施することにより、市全体の文化や観光の振興に寄与することができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	万燈祭、山車祭等の伝統文化の保存・継承に寄与し、観光事業を推進する重要な事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・平成27年度に設計を行った銀座万燈製作場が完成し、現時点では新たに建設予定の倉庫はない。					

会計名 一般会計			衣浦定住自立圏域観光PR事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	衣浦定住自立圏域への観光客の集客及び圏域間の相互交流を図るため、観光情報発信ツールとしての観光情報誌を作成し、圏域の観光情報を広くPRする。	主たる内容	より魅力的な情報発信をするため、衣浦定住自立圏域観光パンフレット「きぬうら旅うらら」の内容及びデザインを一新する。 設置場所 ・各市町観光案内所及び庁舎 ・愛知県観光協会 ・圏域内、県内公共施設等					
	位置づけ	関連計画	衣浦定住自立圏共生ビジョン						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成28年度～平成28年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・衣浦定住自立圏域観光パンフレット「るるぶきぬうら」作成 70,000部		_____	
成果		・るるぶのブランド力を活用することで多くの人に配布することができ、圏域市町の観光情報を圏域内外へPRできた。							
課題		・関係市町の観光スポットを広く活用した観光モデルコースの活用を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標	衣浦定住自立圏域観光パンフレット作成（部）				—	70,000	—		
指標									
他市との比較検証	広域連携の規模や情報媒体が異なるため、比較が困難である。								
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	6,588	0	合計	6,588,000円	
	財源	特定財源	0	0	4,446	0	委託料	6,588,000円	
		一般財源	0	0	2,142	0			
	職員人件費②		0	0	1,954	0			
	総事業費（①+②）		0	0	8,542	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費			0	観光施設費等補助金（県） 衣浦定住自立圏構成市町負担金					
30年度以降の事業費見込			0						

会計名			衣浦定住自立圏域観光PR事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	衣浦定住自立圏全体の魅力を伝えるための手段として有効であり、妥当と考える。 また、観光客等に対し必要かつ魅力的な情報を提供することは、圏域内の誘客の増加につながり、経済振興への期待感も高まるため必要であった。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各自治体から負担金を募り、愛知県補助金も活用し、制作にかかる費用の負担軽減を図ることができた。また、各自治体の情報発信ツールを活用することで、刈谷市単独よりも広範囲にわたり情報発信することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	衣浦定住自立圏共生ビジョンに則り、中心市である刈谷市が主体となって、各自治体の意思統一を図り、情報を整理し、事務手続きを行う必要があった。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	全国誌である「るるぶ」のブランド力を生かした観光パンフレットを作成したことにより、圏域全体の魅力を広くPRする事ができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・定期的に観光パンフレットの情報を更新し、配布状況に応じ増刷を行う。					

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
2	1	2						観光係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	情報共有							
		施策の内容	広報・広聴の充実							
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。			主たる内容	○歴史文化のPR 市内外で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを運営する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村ウォーキング 刈谷市民が、東吉野村内の天誅組に関する史跡をたどる。 ○刈谷市史跡めぐり 東吉野村民を招き、刈谷市内の天誅組に関する史跡をたどる。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化芸術振興基本法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・歴史スタンプラリーの開催 ・PR用物品の作製、活用 ・イベントへの出展 ブース出展回数 7回 ・キャッチフレーズの制定、PRのぼり作製・設置 ・歴史の小径冊子の作製・配付 ・刈谷城築城盛上げ隊 出演回数 29回		・歴史ガイドブックの作製 ・PR用物品の作製、活用 ・PRブースの出展 ブース出展回数 7回 ・刈谷市史跡めぐりの開催 参加者数 34人 ・偉人伝再生機の設置 4箇所 ・刈谷城築城盛上げ隊 出演回数 39回		・PRブースの出展 ブース出展回数 8回 ・東吉野村ウォーキングの開催 参加者数 26人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 34回		・PRブースの出展 ブース出展回数 8回 ・刈谷市史跡めぐりの開催 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 35回		
成果		・主要なイベントでのPRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演により、市内外の人に刈谷の歴史や文化をPRできた。 ・東吉野村ウォーキングに参加することで、参加者に天誅組の歴史についてPRするとともに、両市村の友好市町村としての結びつきを再認識してもらうことができた。								
課題		・PRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演については、次年度以降も継続性をもって事業を実施し、刈谷の歴史文化や刈谷城の復元等について、より多くの市民に啓発していく必要がある。 ・東吉野村ウォーキングは募集人数を上回る応募人数であったため、事業の実施規模等について検討する必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標	刈谷の歴史に興味をもっている市民の割合（％）				36	46	42	43	43	
他市との比較検証	築城と郷土の歴史や文化の啓発を目的とした事業 ・織田信長公小牧山城築城450年（愛知県小牧市 平成24年度～25年度で実施） ・佐倉・城下町400年記念事業（千葉県佐倉市 平成22年度～29年度で実施）									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		8,606	13,573	5,376	5,124	合計	5,376,244 円		
	財源	特定財源	0	4,644	0	0	需用費	220,536 円		
		一般財源	8,606	8,929	5,376	5,124	役務費	18,116 円		
	職員人件費②		7,180	8,422	8,753	4,476	委託料	5,114,480 円		
	総事業費（①+②）		15,786	21,995	14,129	9,600	負担金、補助及び交付金	23,112 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
	28年度までの累積事業費		0							
	30年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			観光係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域活性化を図る一助とする。 現在は県内外の他自治体においても、武将隊をはじめ歴史文化の啓発事業が盛んであり、社会需要は存在する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷城盛上げ隊の運営を委託することで、効率化を図った。 また、隊員にボランティアを採用することで、幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	本市に残されている歴史的な文化財を後世に継承するため、市が主体となって歴史文化に関するPRをすることは重要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	歴史文化を継承するうえで、ゆかりの自治体との交流は重要である。 また、刈谷城や天誅組等の歴史文化に対する市民の認知度も高まっており、施策への貢献度は高いと言える。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・歴史博物館や亀城公園再整備にあわせた歴史的建造物の建設に向けて、刈谷市の歴史文化を一層PRしていくため、今後も継続性をもって事業を実施する。					

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	10							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	市民に憩いの場を提供し、福祉の増進を図る。			主たる内容	○十朋亭の受付等業務委託 ○十朋亭の施設、設備修繕			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 	
成果		・年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図った。							
課題		・亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		十朋亭時間区分稼働率（％）			19.2	24.0	22.2	25.0	27.0
指標									
他市との比較検証		・施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		5,004	5,128	4,853	5,421	合計	4,852,762 円	
	財源	特定財源	657	1,000	923	830	需用費	696,827 円	
		一般財源	4,347	4,128	3,930	4,591	役務費	49,598 円	
	職員人件費②		1,549	1,567	4,943	4,563	委託料	4,106,337 円	
	総事業費（①+②）		6,553	6,695	9,796	9,984			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0		十朋亭使用料			
30年度以降の事業費見込		0							

会計名		民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	6					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先人がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。		主たる内容	指定無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	無形民俗文化財保存団体		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ESDユネスコ世界会議併催イベント 開催地：愛知県名古屋市 ・3月1日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会（蒲郡市大会） 開催地：愛知県蒲郡市		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助 ・11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：第30回国民文化祭・かごしま2015 開催地：鹿児島県始良市		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助	
成果		・刈谷万燈保存会が、ふるさと祭り東京に出演し、全国で刈谷市の民俗芸能を披露できた。							
課題		・無形民俗文化財を披露する機会は限られているため、今後いかに啓発していくかが課題である。							
O 実施	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	活動指標	無形民俗文化財の出演団体数（団体）		2	1	0	1	1	
指標									
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		300	1,141	0	300	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	300	1,141	0	300			
	職員人件費②		634	1,018	380	380			
	総事業費（①+②）		934	2,159	380	680			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			音楽振興活動補助事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	刈谷市文化振興基本計画では、「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図る。			主たる内容	音楽協会が行う演奏会などの事業を支援する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	刈谷音楽協会		事業期間	平成18年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・6月22日 第10回刈谷音楽祭 ・12月6日 第8回音楽協会演奏会		・6月21日 第11回刈谷音楽祭 ・12月5日 第9回音楽協会演奏会		・6月19日 第12回刈谷音楽祭 ・12月3日 第10回音楽協会演奏会		・第13回刈谷音楽祭 ・第11回音楽協会演奏会	
成果		・音楽祭及び演奏会の開催を支援することで、音楽のあるまち刈谷をPRできた。							
課題		・会員数が横ばい傾向であり、新規会員を獲得していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		協会会員数（人）		74	76	76	77	78	
成果指標		刈谷音楽祭入場者数（人）		568	270	500	800	800	
他市との比較検証		近隣市で音楽家の協会があるのは、岡崎市と安城市のみである。岡崎市では文化協会に所属しており、市が文化協会の活動を支援している。安城市では活動に対する補助はしていない。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		716	440	800	800	合計	800,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	800,000 円	
		一般財源	716	440	800	800			
	職員人件費 ②		634	705	837	608			
	総事業費（①+②）		1,350	1,145	1,637	1,408			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	10					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化				主たる内容	○給水管布設工事 ○污水管改修工事		
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	十朋亭の補修を行うことにより、利用者に快適な施設空間の提供を図る。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則							
		対象者		事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・給水設備改修 ・電気設備改修		—		・給水管布設工事 ・污水管改修工事		・屋根瓦修繕		
成果		・十朋亭の施設を改修することで、利用者が快適に利用できるようになった。								
課題		・施設の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標										
指標										
他市との比較検証		他市に同様の事例がないため、比較できない。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		559	0	2,514	0	合計	2,514,240 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,976,400 円		
		一般財源	559	0	2,514	0	負担金、補助及び交付金	537,840 円		
	職員人件費 ②		352	0	1,141	1,141				
	総事業費（①+②）		911	0	3,655	1,141				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
		28年度までの累積事業費		0						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外に向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。			主たる内容	○史跡の維持管理及び樹木剪定等の管理 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（大和郡山市・堺市・津市） 歴史資料等の購入 歴史啓発ポスターの作成 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（富岡市・甘楽町・桐生市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（松本市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（金沢市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 	
成果		椎の木屋敷跡などの史跡の維持管理及び高木剪定等を実施し、良好な状態に保つことができた。							
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回）			12	12	12	12	12
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			37.9	—	35.0	37.8	43.3
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（4回程度／年）							
C 事業 コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		5,505	5,049	4,262	6,856	合計	4,262,349 円	
	財源	特定財源	7	7	7	16	旅費	93,200 円	
		一般財源	5,498	5,042	4,255	6,840	需用費	313,689 円	
	職員人件費 ②		704	783	313	228	役務費	23,876 円	
	総事業費（①+②）		6,209	5,832	4,575	7,084	委託料	3,747,168 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
30年度以降の事業費見込		0							
使用料及び賃借料				9,416 円					
負担金、補助及び交付金				75,000 円					

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地造成等に伴う緊急発掘調査や試掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を整理・保存し、市域の歴史解明の一助とする。	主たる内容	臨時職員により遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、調査成果を広く市民に公開するための作業を行う。 また、年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、専門家の資料調査のニーズに対応する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・紫雲寺東遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		・築地貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）	
成果		・緊急発掘調査を行った宮東第1号貝塚をはじめ試掘・確認調査を行った市内各遺跡の出土遺物について、1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施することができた。							
課題		・年々増加する出土遺物量に対して、作業場の収蔵スペースが不足している。また、調査成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		1次整理作業実施率（％）			100	100	100	100	100
活動指標		2次整理作業実施件数（件）			1	0	2	1	2
他市との比較検証		安城市においては埋蔵文化財センターにおいて基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度にセンター内の展示コーナーで速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,462	3,385	3,319	3,954	合計	3,319,126 円	
	財源	特定財源	76	0	14	41	賃金	3,220,360 円	
		一般財源	3,386	3,385	3,305	3,913	報償費	6,400 円	
	職員人件費 ②		1,408	705	547	379	旅費	10,420 円	
	総事業費（①+②）		4,870	4,090	3,866	4,333	需用費	81,946 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。		主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催 ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
B事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年4回：元刈谷、天誅組、一ツ木、重原コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 ボランティア養成講座開催 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：井ヶ谷、まちなか、野田半城土コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：城下町、東海道、高須コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：築地・恩田、鎌倉街道、小垣江コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは平均して9割以上から満足との評価を得た。 高齢者の社会参加の好ましい例として、内閣府より平成26年度ボランティア活動功労者表彰を受けた。 平成26年度にガイドボランティア養成講座を実施したことで新たに5名の会員が加わり、会の活性化を図れた。 参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきている。 							
	課題								
D実績	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）			40	50	50	50	50
	成果指標	史跡めぐり参加者（人）			261	232	248	240	240
E実施	他市との比較検証	にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立市観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 三州高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施							
	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
C事業コスト	事業費 ①	182	182	182	182	合計	181,980 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,980 円	
		一般財源	182	182	182	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②	563	783	547	607				
	総事業費（①+②）	745	965	729	789				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			歴史の小径推進事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	誰もが歴史的遺産である文化財に親しむことができるとともに、文化財の保護・保存に理解を深める機会を提供する。	主たる内容	森銃三、三郎兄弟の生家跡に歴史の小径案内板と同様の案内板を設置する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・森銃三・三郎生家跡への歴史の小径案内板の設置業務委託		_____	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 通常の案内板ではなく、景観に配慮した石造りの「歴史の小径」案内板とすることで、関係団体から好評を得た。 撤去する「歴史の小径」案内板の石柱を再利用することにより、当初予算に比べて事業費を削減することができた。 							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		歴史の小径案内板設置数			0	0	1	0	0
指標									
他市との比較検証		・案内板はそれぞれの自治体が必要に応じて設置するものであり、統一的な比較指標は存在しない。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	167	0	合計	167,400 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	167,400 円	
		一般財源	0	0	167	0			
	職員人件費 ②		0	0	78	0			
	総事業費（①+②）		0	0	245	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			中条遺跡発掘調査事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	中条遺跡の発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理し報告書作成のための資料化を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。				主たる内容	有識者による非営利団体である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して、発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測や調査記録図面・写真の整理・保存を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度 ~ 平成29年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレース 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレース 平成10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分遺構図面整理 平成11年度分遺物図面整理 平成11年度分遺構図面トレース 平成11年度分遺物観察表作成 平成11・12年度分金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分遺構図面整理 平成12年度分遺構図面トレース 平成12年度分遺物観察表作成 平成12年度分調査記録写真整理 		
成果		・報告書作成に向けた資料化を計画的に進めるため、作業委託先である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会の調査員と各調査年度毎の作業内容・手順を確認できた。								
課題		・出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。 ・作業に必要な資料をストックしておくスペースが狭く作業効率が悪くなっている。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		平成11年度発掘調査分整理作業進捗率（％）			70	80	100	—	—	
活動指標		全体整理作業進捗率（％）			85	90	95	100	—	
他市との比較検証		豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。いずれの市も埋蔵文化財を担当する正規職員が3～5名いる。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,000	3,400	3,400	3,400	合計	3,400,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,400,000 円		
		一般財源	5,000	3,400	3,400	3,400				
	職員人件費 ②		1,056	1,254	989	989				
	総事業費（①+②）		6,056	4,654	4,389	4,389				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地開発等に伴う緊急対応の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。			主たる内容	宅地開発等に伴う緊急対応を行い、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	開発事業者及び市民			事業期間	平成13年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・窓口照会 1051件 ・試掘調査 38件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 1件 ・民間建築確認申請における対応件数 90件 未対応件数 125件		・窓口照会 1122件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 3件 ・民間建築確認申請における対応件数 66件 未対応件数 86件		・窓口照会 1244件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 21件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 47件 未対応件数 37件		・窓口照会 1100件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 50件 未対応件数 30件 ※緊急発生的なものであるため、見込みの数値。	
成果		・増加傾向にある埋蔵文化財の窓口照会における取扱説明は的確に行うことができた。積極的に事業者へ協力依頼して事前の試掘・確認調査を行ったことで、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合に応じて発掘調査あるいは工事立会など適正な対応をとることができた。緊急発掘調査は、事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行えた。							
課題		・窓口照会と同様に、民間の審査機関への建築確認申請も増加するなか、埋蔵文化財への対応ができていない事案があったため、開発事業者等に埋蔵文化財の取扱手続の周知を強化していく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	窓口照会件数（件）			1,051	1,122	1,244	1,100	1,100
	成果指標	民間確認申請対応率（％） ＝対応件数/（対応件数＋未対応件数）			41.9	43.4	44.4	44.4	44.4
他市との比較検証	安城市の平成28年度実績は窓口照会604件、試掘・確認調査25件、工事立会60件、発掘調査9件、その他2件で、窓口照会件数は刈谷市より少ないが文化財保護法に基づく届出件数は83件と多く、多くの緊急調査に対応している。ホームページや広報誌への掲載、パンフレット配布等による埋蔵文化財の保護・取扱いに対する周知が刈谷市より進んでいる。								
C 事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①	573	446	1,215	1,215	合計	1,215,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,215,000 円	
		一般財源	573	446	1,215	1,215			
	職員人件費 ②	1,408	1,175	2,662	1,901				
	総事業費（①＋②）	1,981	1,621	3,877	3,116				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
	28年度までの累積事業費		0						
	30年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	6								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国の登録文化財である刈谷市郷土資料館の適切な施設管理を図る。				主たる内容	○国の登録文化財である郷土資料館の施設管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施 ・建物1階床下の白蟻駆除		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		
成果		・指定管理者への管理委託を行い、国登録文化財の適切な運用に努めた。								
課題		・建物が登録文化財であるため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
成果指標		総入館者数（人）			12,289	11,910	15,080	13,000	13,000	
指標										
他市との比較検証		郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館と入館者数。 ・北名古屋市長歴史民俗資料館 年間46,895人（平成28年度）								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		16,526	19,951	18,834	24,983	合計	18,834,438円		
	財源	特定財源	7	0	0	0	役務費	82,986円		
		一般財源	16,519	19,951	18,834	24,983	委託料	18,751,452円		
	職員人件費②		845	1,018	608	608				
	総事業費（①+②）		17,371	20,969	19,442	25,591				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。			主たる内容	○市内外における資料の調査 ○刈谷に関する関係資料の収集 ○資料目録の作成 ○資料のマイクロ化				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成7年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 5回 資料整理の実施 新聞データの整理 市史だよりの発行 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 5回 資料整理の実施 新聞データの整理 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 5回 資料整理の実施 新聞データの整理 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 5回 資料整理の実施 新聞データの整理 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分でなかった。 								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
活動指標		調査回数（回）		5	5	5	5	5		
活動指標		調査・整理資料点数（点）		500	500	500	500	500		
他市との比較検証		名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,205	4,945	5,033	5,416	合計	5,032,664 円		
	財源	特定財源	206	167	153	151	賃金	1,650,880 円		
		一般財源	4,999	4,778	4,880	5,265	旅費	55,920 円		
	職員人件費 ②		1,056	1,175	1,172	1,138	需用費	3,158,969 円		
	総事業費（①+②）		6,261	6,120	6,205	6,554	役務費	58,930 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		コピー代実費徴収金 冊子等頒布収入						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定有形文化財の保護・保存のため。			主たる内容	市指定有形文化財である「伝通院調度品」の内、「枕屏風」が破損しているため、修繕費を補助する。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	刈谷市文化財保存事業費補助事業費補助金交付要綱						
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		_____		・市指定文化財である「伝通院調度品」の内、「枕屏風」の修繕費補助 ・市指定文化財「専光寺のクスノキ」の樹勢回復事業費補助		_____		
成果		・枕屏風の保存修理を実行し、54,000円のうち3分の2である36,000円補助を行った。 ・専光寺のクスノキの樹勢回復を行い、151,610円のうち、3分の2である101,073円補助を行った。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		補助件数			0	0	2	0	0	
指標										
他市との比較検証		近隣市の国指定文化財保存事業費補助負担割合 ・安城市…国県採択事業で補助対象経費の1/10 ・岡崎市…国採択事業で補助対象経費から国県補助額を差し引いた額の1/3 ・豊田市、知立市、西尾市…国県採択事業で補助対象経費から国県補助額を差し引いた額の1/2								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	137	0	合計	137,073 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	137,073 円		
		一般財源	0	0	137	0				
	職員人件費 ②		0	0	156	0				
	総事業費（①+②）		0	0	293	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	平成9～12年度にかけて実施した中条遺跡の発掘調査について、調査年度毎に成果をまとめた報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般公開し、本市の歴史研究の一助とする。				主たる内容	発掘調査で検出した遺構や遺物に関する図版作成と報告書の印刷を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～平成30年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> 平成9・10年度調査分図版作成 平成9年度調査分報告書印刷 		<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度調査分図版作成 平成10年度調査分報告書印刷 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度調査分図版作成 平成11年度調査分報告書印刷 		
成果		平成10年度調査分の報告書を作成した。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		報告書刊行数（冊）			—	1	1	1	1	
成果指標		報告書頒布部数（冊）			—	0	24	30	30	
他市との比較検証		安城市と豊田市では、発掘調査後数年の内に報告書を刊行している。 ・安城市の平成28年度報告書刊行数2冊 ・豊田市の平成28年度報告書刊行数4冊								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	6,653	4,284	4,500	合計		4,283,712円	
	財源	特定財源	0	0	24	231	需用費		1,043,712円	
		一般財源	0	6,653	4,260	4,269	委託料		3,240,000円	
	職員人件費②		0	2,350	3,126	3,035				
	総事業費（①+②）		0	9,003	7,410	7,535				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	6					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国の登録文化財である刈谷市郷土資料館の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。				主たる内容	白蟻に食い荒らされた床下大引の修繕を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
			対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		――		――		・建物1階床下の白蟻駆除を行った		・外壁の修繕を行う。 ・エキスパンションの修繕を行う。		
成果		・床下大引の取替え・及び壁のペニア等の張替えを行い、被害を最小限にとどめることが出来た。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		修繕件数			0	0	1	2		
指標										
他市との比較検証		他市には類似事例がないため比較検証が困難である。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	276	1,200	合計		276,480 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		276,480 円	
		一般財源	0	0	276	1,200				
	職員人件費 ②		0	0	0	76				
	総事業費（①+②）		0	0	276	1,276				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費			0							
30年度以降の事業費見込			0							

会計名			観光用倉庫管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	万燈、山車などを収納する観光用倉庫を適切に管理することで、伝統行事の継承、発展を目指す。	主たる内容	倉庫管理に必要な名鉄高架下倉庫の借地料、火災保険料及び電気料を支払う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 	
成果		・観光用倉庫を適切に管理することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証		祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,709	1,695	1,789	1,710	合計	1,788,876 円	
	財源	特定財源	278	279	351	289	需用費	151,716 円	
		一般財源	1,431	1,416	1,438	1,421	役務費	25,256 円	
	職員人件費 ②		352	783	782	121	使用料及び賃借料	1,611,904 円	
	総事業費（①+②）		2,061	2,478	2,571	1,831			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 鉄道高架下倉庫等賃貸料					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			万燈祭開催補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2	担当係	観光係					
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷万燈保存会への補助を通し、万燈祭の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。			主たる内容	刈谷万燈保存会の祭り開催に要する経費を補助する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷万燈保存会			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・開催日 7月26日・27日 ・来場者数 102,000人		・開催日 7月25日・26日 ・来場者数 107,000人		・開催日 7月30日・31日 ・来場者数 113,000人		_____	
成果		・刈谷市中心部での開催のほか、市内外の他のイベントにも積極的に参加することで、知名度が向上し、刈谷市を代表する祭りとして市内外に認知されるようになってきている。 ・企業も近隣の地区と合同で万燈製作や祭りに参加することで、祭りの活性化及び地域における連帯感の醸成にも繋がっている。							
課題		・開催場所である市内中心部以外についても、認知度を高める必要がある。 ・祭りの一層の活性化及び市内外からの観光客の増加を図るためには、伝統の継承のほか、限られたスペースや時間等の制約の中で、商工会議所や商店街等の既存の地域資源の活用やそれらとの連携のほか、情報発信の充実や効果的なPR手法の採用に取り組む必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標	来場者数（人）	102,000	107,000	113,000	—	—			
指標									
他市との比較検証	刈谷市独自の祭事であるため比較できない。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,414	5,414	5,414	0	合計 5,414,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 5,414,000 円		
		一般財源	5,414	5,414	5,414	0			
	職員人件費 ②		1,408	1,567	1,901	0			
	総事業費（①+②）		6,822	6,981	7,315	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭り花火大会において、市内企業及び市民などからの協賛金に合わせ、本市も花火の打ち上げを行うことにより、花火大会の魅力向上させ、市民へ娯楽を提供するとともに、観光の振興を目指す。		主たる内容	メロディ花火を中心とした花火を打ち上げる。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月16日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 市制65周年仕掛文字花火 開催日：8月15日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月20日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日 発数：約7,000発（全体）	
成果		・同規模の近隣市町村と比較しても誇ることのできる花火大会となっている。 ・市内で開催されるイベントで最も集客力を持つイベントとなっている。							
課題		・大勢の観客が来場することから、会場周辺での交通渋滞や迷惑駐車が大きな問題となっている。 ・限られた会場内に来場者が集中してしまう。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	来場者数（人）		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標			150,000	153,000	153,000	153,000	153,000		
他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会が開催されている。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		10,000	12,000	10,000	10,000	合計	10,000,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,000,000円	
		一般財源	10,000	12,000	10,000	10,000			
	職員人件費②		1,056	1,567	1,563	1,517			
	総事業費（①+②）		11,056	13,567	11,563	11,517			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			広域観光情報システム推進事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	西三河9市1町の自治体が共同で構築した観光情報システムにより、個人旅行に合わせた観光客の自由な周遊計画の作成支援及び地域の埋もれた魅力の発信を行うとともに、観光情報発信力の強化及び観光客の利便性を向上させ、刈谷市の観光の活性化を目指す。	主たる内容	西三河9市1町の自治体が共同で導入した地域クラウド型サービスの管理運営を行う。 ○地域クラウド型サービス 旅行者がパソコンやスマートフォンを使って行きたい観光スポットを選んでいくと最適な周遊ルートを自動設定し、パソコンやスマートフォンの電子地図上に表示するシステム。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の開設 		<ul style="list-style-type: none"> 西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 		<ul style="list-style-type: none"> 西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 西三河9市1町の自治体が連携したイベントの実施 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実に取り組み、個人旅行者の増加に伴うより自由な観光ルートや地域でのふれあいの発信など、さまざまな観光資源をつなぐ、きめ細かな情報発信を行った。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 情報発信サイトのより一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 毎年新しい企画を立案するとともに、継続して情報発信等に取り組むため、各市町が単独で取り組んでいた既存の手法との整理・統合が必要である。 							
O V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	成果指標	ホームページアクセス数（件）		—	—	239,614	250,000	270,000	
指標									
他市との比較検証	近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。								
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	709	200	0	合計	199,808 円	
	財源	特定財源	0	224	0	0	負担金、補助及び交付金	199,808 円	
		一般財源	0	485	200	0			
	職員人件費 ②		0	1,175	782	948			
	総事業費（①+②）		0	1,884	982	948			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			観光団体補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	観光団体への補助を通し、伝統の継承と観光の振興による地域活性化を図る。		主たる内容	野田雨乞笠おどり保存会の祭り開催に要する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
			根拠法令						
		対象者	野田雨乞笠おどり保存会		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月24日 場所：野田八幡宮 来場者数：560人		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月23日 場所：野田八幡宮 来場者数：560人		・野田雨乞笠おどり 開催日：8月21日 場所：野田八幡宮 来場者数：600人		—	
成果		・古くから野田地区に伝わる雨乞おどりを観光資源として支援することにより、刈谷市の魅力を高めることができた。 ・300年の歴史があり、市の無形民俗文化財に指定している野田雨乞笠おどりの保存、継承に役立っている。							
課題		・開催場所である市内南部地域以外についても、認知度を高めていく必要がある。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	来場者数（人）		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標			560	560	600	—	—		
他市との比較検証	刈谷市独自の祭事であるため比較できない。								
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		120	120	120	0	合計	120,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	120,000 円	
		一般財源	120	120	120	0			
	職員人件費 ②		352	392	391	0			
	総事業費（①+②）		472	512	511	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			大名行列道具整備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	観光資源の発掘と活用						
	目的	大名行列に使用する道具を整備して、祭りの充実を目指す。			主たる内容	市無形民俗文化財に指定している大名行列「奴のねり」で使用する槍等の道具を修繕する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
			根拠法令						
		対象者	刈谷春祭実行委員会			事業期間	～平成28年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・先箱化粧ひも取替え 4本 ・供槍、先中道具頭修理 2箇所		・槍頭修理 10箇所 ・供槍頭修理 2箇所		・大鳥毛頭修理 一式 ・大鳥毛頭養生シート製作 2個 ・化粧組ひも修理 4本		_____	
成果		・祭事での使用に伴い老朽化する道具を修繕することで、「奴のねり」の継承に寄与することができた。							
課題		・特殊な道具であるため、修繕可能な業者が限られる。 ・観光振興よりも文化財の保存、継承といった視点からの修繕が求められている。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	指標								
	指標								
	他市との比較検証	西尾市に類似行事があるが、それぞれ独自の道具を使用するため比較は難しい。							
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		194	86	259	0	合計	259,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	259,200 円	
		一般財源	194	86	259	0			
	職員人件費 ②		352	392	391	0			
	総事業費（①+②）		546	478	650	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							